



その1

(平成30年度版)

日頃の保育の中で「子どもたちならではの発想、ほほえましい会話のやり取り」「こころ温まる1コマ」
「ふ〜ん、なるほど〜」と感じたことを1つの冊子にまとめました。
みなさんの生活や子育てのちょっとしたうるおいになれば幸だな〜と思います。(文面はこどもも読めるよ
うに、あえてひらがなを使用しています) それではお楽しみください!

いどもたちのこころは

さりげなく

「ありがとう」が



いえるよ！です

いどもと いどもと いどもと おとなのあいだでも

ものをとってもらって「ありがとう」

「きょうのふくかわいいね！」「ありがとう」

1にちの せいかつのなかで さりげなく

きこえてくる「ありがとう」

きょうも いちにち こころおだやかに すごせたきぶんになります

ほいくし

「さあ〜おゆうぎの

れんしゅうをはじめようか？」

こども

「がんばろうっと！」

さりげない

こどものひとひとで

げんきをもらっています



ゆうぎれんしゅうを はじまるまえのさりげない ひとこと

こどもたちの はっぴようかいをたのしみに がんばろうと

する きもちが つたわります

こんなこえをきくと ほいくしも うれしく ちからがわいてきます

こどものちからって すごいですね

「いやなことあれば

いいことある」

こどもたちに

よくつたえることばの

ひとつです



ほいくしが

「あーあれやりおすれた〜」と

つぶやいていると

こどもが

「だいじょうぶ

いやなことあれば

いいことあるんだよ!」

そう はげましてくれました

こどもたちは つたえられたことを こどもたちなりにかんがえ
じぶんのせいかつのなかに いかしているのです
このことばをかけられたとき たまらなく うれしかったな〜

はっぴようかいも ちかづき
ワクワクのきもちもあれば
ちよっぴり ふあんもある
こどもたち

そんなとき
きんちようしているこどもに
ほごしやのかたが
こういったそうです

「きんちようするのは
いいことだぞ」

それから そのおこさんは
きもちがかるくなつたようです



ありのままの かんじたきもちを

そばにいるおとなが うけとめてくれる

そんなとき こどもも おとなも

ほんとうにあんしんするものです

2・3さいの

おどりのれんしゅうをみていた

4・5さいのこどもたち

きよくのとちゅうから

だれがいったわけでもないのに

てびようしをはじめたのです

2・3さいのこは

とてもよろこんでいました

ふと かんがえてみると

4・5さいのこどもたちは いぜん

ぶんかさいで おきやくさんに

おなじことをしてもらっていたのです

してもらって うれしかったことは

ちやーんとしてあげるものなんですね



はっぴようかいがおわり

おもったことがありました

それは おきやくさんのみなさんが

すごく しあわせそうなかおで

ぶたいをみていたことです

そのしせんのかきには

すごくはりきって おどるこや

きんちようしながらも さいごまで

やりとげる こどもたちのすがたがありました

このぎょうじをおえて

いろんなことがありました

やっぱり はっぴようかいはいいな

そうおもいました。



ひとつ あんなにも しあわせそうなかおができるんだな

しよちようせんせいも おなじことをいっていました

こどもの ちからって すばらしいですね

クリスマスかいがありました
このひばかりは
ほいくしよがだいすきなこも
はやくかえつて プレゼントみたいくと
いっていました



かえるときには こんなことばもきこえて
きました

「きょうは ほんとうに さいらうの
ひだな！」

それをきいたほいくしも さいらうの
きぶんになれました！

クリスマス おとも こどものときに こころおどらせて
いたのものです

こどもたちの こころの わくわくが おともにも
しっかりときこえてきた しあわせな いちにちでした

しよちようせんせいは

さいきん ほんくしよのこどももの

はなしをするとき こういいます

「うちのこたち

めんこい〜」



そういう しよちようせんせいを

こどもたちも だいすきなのです

いっしよにいるじかんがながいほど こどもへのあいちやくは
ふかく なるものです

こんな はなしをしているときの しよちようせんせいは

すごく しあわせな かおをしているのです♡

このまえ なわとびチャレンジをしました
じこしんきろくをこえそうな
おともだちがいると まわりのこが
しぜんと

「○○くん がんばれー！」と
こえをかけてくれました



そのこは しんきろくを のばし とても
いいえがおで ともだちと ほいくしと
よろこびを わかちあいました

とてもすてきな しゅんかんでした

なかまのがんばりを じぶんのここのように

おうえんできること きのうのじぶんを こえよとうするすがた

どちらも すてきな こどもたちの せいちようですね！

ちいさいおともだちが
ほいくしのなまえをよんで
くれるようになりました
たどたどしくも

「せんせい〇〇せんせい〇〇」

はなせるようになった

よろこびと よんでくれる

ようになったたよろこびで

こどももおとなも

うれしくなります



ねんちようさんの おともだちが
じようずにつくったブロックを

かたづけのじかんになり

しぶしぶ かたづけていました

「えらいね ほんとうは まだ あそ

びたいのにかたづけて」というと

そのこは「せんせい これはね

こころのしゅぎようさ がまんするこ

とは こころのしゅぎようさー」と

おしえてくれました

「いどもにいいことおしえてもらい


ました！



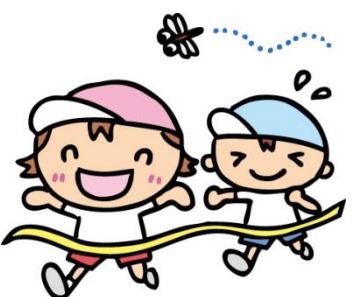
うんどうかい こうはくりレーの
れんしゅうのあと まけたチームの
こどもたちが なみだをながしていま
した

すると かったチームのこが
かけより はなしてくれました

「だいじょうぶ！
ないたぶんだけ
つよくなるから！」



とてもいいしゅんかんでした！



プールあそび まっさいちゅう
もう 33かいもはいつています！
おみずが こわーいといつて
プールのはじにいた おともだちも
いまでは「わたしもぐつてみる！」と
チャレンジするようになりました！
もぐりおえて ひとこと

「なんだか わたし おみずと
ともだちになれそう！」

そう えがおで いいました
こどもの せいちようつて

すてきですね！



どろんこあそびをしたときのことです
こどもたちは どろどろ
ぐちゃぐちゃ ぬるぬる
およろこびで あそんでいると
ひとりのおともだちが
からだじゅうに
どろをぬりはじめたのです



「あら〜」と ほいくしがいうと

「せんせい！どろんこあそびだもん♪

どろだらけにするのが

どろんこあそびでしょ！」とむねを

はって こたえてくれました

ときに こどもは とてもかっこいい

ことをおしえてくれます♡

せんじつの　じしんのよくじつ
ていでんで　ちようりができず
ほいくしが　ぱすたと　おくらを
おべんとうに　もつていくと

こどもが「せんせいどうしたの」
とききました

「いや〜でんきなくてさ
おりようができなくて〜」というと



「せんせい　うちにきな！でんきも
あるし　ぬいぐるみも　いっぱい
あるよ！」といつてくれました
こどものやさしいきもちに
いやされたひとときでした

「えほうまきのはなし」

えほうまきのはなしをこどもたちにし
ました いいことがくるほうをみて
おはなししないで 食べるのがいいん
だよ とはなすと ひとりのこが
なみだをうかべていいました

「ぼく はなしちやった おばあちゃん
ありがとう これおいしいよって」
こどものやさしいきもちにふれ

おもわず 「だいじょうぶ それはいい
ことだから おはなししてもだいじよ
うぶ」 そういつてこどもをだきしめま
した♡



おーしまい！

またあいましよう〜♡